

授業研究

## 競争的外部資金を活用したゼミナール教育

野村 正弘

**【要旨】** 2015年度の4年次ゼミナールで、競争的外部資金を獲得してゼミナール活動を行った。獲得した資金を使用し、取材や講師招聘、子供向け教材の印刷を行った。ゼミナールの活動全般において、『駿大社会人基礎力』を涵養することができた。特に、申請書および報告書の作成の効果は大きいといえる。

**【キーワード】** 競争的外部資金、ゼミナール教育、社会人基礎力、4年次ゼミ

### 1. はじめに

メディア情報学部を含む本学では、1年次から4年次まですべての学年で少人数制のゼミナール教育を行っている。その目的は本学のWebサイトで、次のように公表されている。「課題について説明したり発表したりすることで、コミュニケーション能力・プレゼンテーション（発表）能力が培い、さまざまな問題を自ら発見し、解決する能力を身につける」「大学での学び方や自分の興味のある学部の専門分野の知識をしっかりと深めながら、社会で必要な基礎学力の指導と将来の目標に向けてのきめ細かい指導を行う」である。この目的達成のために、各担当教員は内容、教材等を工夫し教育を行っている。

本学部3・4年次ゼミナールの定員は10数名としているが、その年の学生の指向によっては偏りが出ることもある。2015年度の筆者のゼミナールは4次生が2名しか在籍しておらず、前年まで行ってきたゼミナールで独自に博物館展示を企画し、作成、公開するという教育内容を行うことが困難であった。

そこで、飯能市郷土館が企画する特別展示を部分的に担当することと、競争的外部資金を獲得し独自に博物館の教育事業を企画・開催することと

した。本論では、競争的外部資金獲得の有効性について報告する。

### 2. 競争的外部資金の獲得

#### 2.1. 申請書の作成の前段階

まず、博物館の教育事業を企画・開催する場合、周到な準備と一定の費用がかかることを、学生2名に事例をもとに理解してもらった。特に費用面では、広報費や消耗品費が不可欠であり、外部講師を招聘する場合は謝金も必要となることから、外部資金の調達には事業に有効であるという認識を共有した。

#### 2.2. 企画の作成・申請

教育系の外部資金にはいくつもの選択肢があるが、2名のゼミ生はともに教員免許取得を目指す学生であったため、子供を対象とする内容の教育事業にすることがスムーズに決定した。そこで、『子どもゆめ基金』に企画を提出することとした。

この基金の補助は競争的であるため、提出しただけでは、補助を得ることはできない。企画内容を精査し、説得力のある企画書を書いて始めて可能性が出てくることを説明した。2名とも納得の上で、チャレンジすることになったので、筆者が

組織の登録を行い企画書の作成に入った。2名それぞれが素案を1案ずつ作成し、ゼミナールの中で全員で検討して、申請することにした。

資金を得るために他人を説得する内容・構成、根拠のある費用積算、それらを作成するための取材、慣れない文書作成と、四苦八苦したがなんとか完成にこぎ着け、2件の申請を行った。審査結果は1件のみ採択であった。1件が不採択となった原因を明確にするという作業は、採択された教育事業の終了後ゼミナールの中で行った。この作業は単なる反省ではなく、PDCAサイクルのうちの一過程である。

### 3. 獲得資金により開催した教育事業

採択されて企画した教育事業「ペーパークラフトで機関車を知ろう！」は、2015年12月5日(日)に飯能市郷土館研修室で開催された。参加者数を増やすために、午前と午後の2回とも同じ内容でおこなった。ただし、説明担当は2名の学生で交代している。

#### 3.1. 企画の準備

まず、JR東日本株式会社の森中清氏の指導を受けながら、鉄道全般と機関車についての理解を深めた。それをもとに、チラシのデザインおよびペーパークラフトの設計を長濱沙耶香氏が、事業の内容構成および進行を廣瀬愛美氏が、分担し作成した(図1・図2)。続いて、市内の幼稚園・小学校すべてに対して、案内のポスターとチラシを配布した。配布は飯能市郷土館と飯能市教育委員会の力をお借りした。

ペーパークラフトの印刷発注のみ筆者が行ったが、講師との複数回にわたる打ち合わせ、当日の設営、リハーサル等そのほかの準備作業はすべて、2名の学生が行った。

事前の問合せを想定し、中古スマートフォンを用意し、仮想移動体通信事業者との回線契約を行って対応した。対応はすべて学生である。



図1 外部資金で作成したチラシ

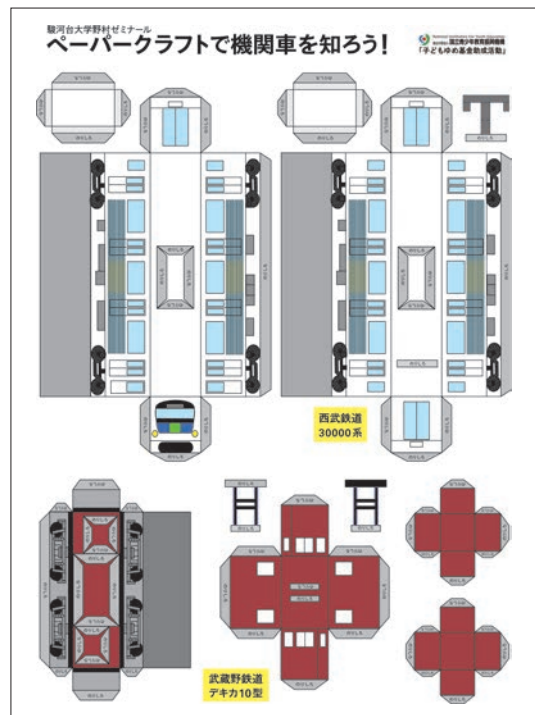


図2 外部資金で作成した教材(ペーパークラフト)

### 3.2. 企画の開催

会場の設営、進行の確認を当日行い、受付、誘導を行った。教育事業の開催中は、司会、進行、全体説明、個別指導を行った。未就学の子供も参加していたため、進行調整と安全管理には特に注意を払って開催した。開催した事業の様子を図3および図4に示す。

### 3.3. 企画終了後の報告

子どもゆめ基金の報告にも若干の事業分析が必要であったため、ゼミナールの中で事業の分析を行った。この作業も単に善し悪しレベルの反省ではなく、SWOT分析に近い内容で行った。特に、参加者があまり多くなかったことに関する分析を重点的に行った。



図3 廣瀬氏による教育事業全体説明の様子



図4 長濱氏による教育事業個別指導の様子

## 4. 競争的外部資金活用による教育効果

経済産業省は、2006年より職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を『社会人基礎力』と呼んで推進している。これを参考に、本学では若干の変更を加えた『駿大社会人基礎力』を設定し、学生教育に使用している。内容は、「基礎的な力（読解力、文章力、情報収集能力）」、「考える力（倫理的・多面的思考力、情報処理能力、理解力、創造的発想力）」、「行動に移す力（主体性、行動力・実行力）」、「協働する力（常識力（一般常識・マナー）、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力・表現力、協調性）」、「総合的な力（課題発見能力、計画力、問題解決能力）」となっている。ゼミナールの活動を通じて、これらの能力を獲得することができれば、優位に就職活動を進めることができる。また、社会人となっても十分通用することになる。

そこで、今回の活動を準備段階、実行段階、まとめ段階の3段階に分け、どの作業がどの『駿大社会人基礎力』を涵養することになるかまとめた（表1）。事業のまとめ段階において「行動に移す力」を涵養する作業が欠けるものの、それ以外はすべて社会人基礎力の涵養につながっていると考えられる。

特に今回、競争的外部資金を獲得するために作成した企画書、事業の報告書は、多くの能力要素の涵養に有効であると考えられる。通常のゼミナールよりも目標と責任の明確な今回の活動は、『駿大社会人基礎力』獲得を推進するには有効なものといえる。

## 5. まとめ

今回、外部資金を獲得してゼミナールの活動を行ったが、単なる資金確保ではなく、まず申請そのものが教育的に有効であることがわかった。学内で完結する教育内容ではなく、学外に評価を受

表1 駿大社会人基礎力と事業の各段階との関係

| 駿大社会人基礎力   | 事業の段階 | 準備段階                      | 実行段階                  | まとめ段階 |
|--|-------|---------------------------|-----------------------|-------|
| 基礎的な力 (読解力、文章力、情報収集能力)                                     |       | 企画書作成<br>取材               | 参加者指導                 | 報告書作成 |
| 考える力 (倫理的・多面的思考力、情報処理能力、理解力、<br>創造的発想力)                    |       | 企画書作成<br>教材作成             | 参加者対応<br>事業運営         | 報告書作成 |
| 行動に移す力 (主体性、行動力、実行力)                                       |       | 企画書作成<br>取材<br>講師依頼<br>広報 | 参加者対応<br>事業運営         |       |
| 協働する力 (常識力 [一般常識・マナー]、プレゼンテーショ<br>ン能力、コミュニケーション能力・表現力、協調性) |       | 取材<br>講師依頼                | 参加者対応<br>事業運営<br>事業運営 | 報告書作成 |
| 総合的な力 (課題発見能力、計画力、問題解決能力)                                  |       | 企画書作成<br>広報               | 参加者指導                 | 報告書作成 |

ける内容は、学生に緊張感を持った活動を要求することになる。その結果、学生が大きな満足感を得ることになる。2名の学生とも、やって良かったという感想を残している。初めての試みで試行錯誤の部分もあったが、競争的外部資金によるゼミナール教育は、教育効果が高いといえる。

### 引用サイト

- 独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」. <http://yumekikin.niye.go.jp/>  
(2016年1月31日検索)
- 経済産業省「社会人基礎力」. <http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/>(2016年1月31日検索)
- 駿河台大学「少人数制のゼミナール」. <http://www.surugadai.ac.jp/tokushoku/zemi.html> (2016年1月31日検索)

カイロスマーケティング「SWOT分析のやり方 事業の成功要因と方策を導き出すための手順」. <https://blog.kairosmarketing.net/marketing-glossary/swot-analysis-20131127/>  
(2016年1月31日検索)

### 謝辞

本事業を進めるにあたり、飯能市郷土館の柳戸信吾館長、尾崎泰弘学芸員ほか館の皆様には多大なご配慮をいただいた。飯能市教育委員会には資料配付でお世話になった。JR東日本株式会社の森中清氏には、鉄道に関する多数の情報をお教えいただくとともに、教育事業当日の外部講師をお引き受けいただいた。長濱沙耶香氏・廣瀬愛美氏の両ゼミ生は、初めての試みにもかかわらず、この事業を工夫して最後までやり遂げてくれた。記して感謝申し上げる。

## **Utilizing competitive external funds for seminar education**

**By Masahiro Nomura**

**[Abstract]** 4th grade students Seminar of 2015, was carried out seminar activities won a competitive external funds. Using the acquired funds, coverage, lecturers invited, and printing of educational materials were carried out. In the overall activities of the seminar, it was able to charge the “Sundai society basic skills”. In particular, the creation of the application form and the final report was effective.

**[Key Words]** Competitive external funding, seminars ducation, Society basic skills, 4th grade seminar